

Medipro

企業概況および課題

北海道大学様 共同研究型インターンシップ

メディプロホールディングスグループ

当グループ概要

メディプロホールディングス株式会社を親会社に
日本メディカルプロダクツ(株)(製造業)、(株)ホープス(販売業)
大日本紙綿(株)(代理店業)、(株)メディプロDS(グループ内横断的業務)

の国内5社からなるグループになります。

沿革

1966年にお産セットの販売をスタートさせ、その後不織布を利用したマスクを国内では初めて製造した会社です。

現在は、全国約5,000病院のお客様を中心に不織布製品・医療用キットを製造販売しています。

沿革のパラパラ動画ありますのでご視聴願います。

沿革 - メディプロホールディングス株式会社 (medipro.co.jp)

1988年、販売が軌道に乗り始めた際、創業者である故山本信男がマレーシアに現地法人を設立し、製造拠点を国内(北海道旭川市)とマレーシアの2拠点にしました。その後、タイに現地法人を設立しました。

国内5社、海外2社となっています(2024年4月現在)

当グループは、国内のマーケットはもちろん、アセアン諸国にターゲットを置き、市場の獲得を行っています。

特にアセアンにおいては今後所得の増加が見込め、医療の進展が目覚ましいと捉え、重点マーケットと考えています。

従業員 国内414名 海外468名 計902名

業種 医療用及び食品、感染防止等の不織布製品の製造・販売

主要取引先 医療機関、食品会社、官公庁

拠点 国内本店・支店 旭川、札幌、仙台、東京、名古屋、大阪
広島、福岡
海外拠点 マレーシア、タイ

本共同研究で実現したい課題

- 医療用キットの製造計画の自動作成

課題として

- ◇当社の医療用キットはほぼ特注品（手術をされるドクターのオーダー品）です。（現在国内では特注品製造、国外では大量製造できるカタログ品製造） ※『医療用キットとは』は本資料の最後に記載します。
- ◇医療用キットの欠品は、直手術現場で手術ができなくなるということになり、人命に関わることとなります。
- ◇欠品を回避するために、お客様の在庫状況によっては緊急製造を行うこととなりますが、逆に弊社では製造効率の悪化にもなります。
- ◇医療用キットを製造するには、その構成部品が必要の準備が重要です。

本共同研究で実現したい課題

(可能であれば)

- 製造ラインの自動化、省力化への改善

課題として

- ◇日本では人口減少が進み、当社においても製造作業員が減少傾向となり、大きな課題と位置付けています。
- ◇国内では特注品製造(多品種少ロット)が多く、国外工場のように機械化が進まない状況です。

参加学生の皆様へ

- 医療用キットの製造計画の作成を手術の変動要因を加味したうえで自動的に作成できるツールを提案してほしい。
- 工場内の自動化・省力化への提案を行ってほしい。

※医療用キットとは

医療用キット1セットがあれば、基本手術で使用する医療用機器がすべて組み込まれている製品です。

手術現場では、準備をする看護師様の作業効率を大幅に改善し、その市場規模は国内400億円とされています。

術式やドクターにより組込む医療用機器は異なっており、ほぼ99%が特注品です。

→ある手術で使用される医療キットの一例です。





Medipro

希望ある豊かな未来へ。

メディプロホールディングスグループ

ご検討よろしくお願ひ致します。

メディプロホールディングスグループ